

# 第14回「先輩と語る」講演会

## 「病院薬剤師の現在、過去、そして未来」

演者：松田俊之 さん（24期生）

東京労災病院薬剤部長

日時：7月11日（月）18:30-20:00

場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部 共催：日本薬学会北海道支部

後援：北海道大学薬学部同窓会

演者は、1981年に薬学部（病院薬剤部）を卒業後、同年青森労災病院薬剤部に勤務。その後、2002年に東京労災病院薬剤部に異動となり、現在、部長を務めています。北大在学中は、まだ端緒についたばかりのクリニカルファーマシー（主にUCSFなど米国西海岸を中心として始まった）に触れ、学内での先生方との討論会や附属病院での勉強会などを通じて日本における臨床薬学の実現・実践に向けて日夜学友達と共に励んでいました。まさに、カリフォルニア・ドリーミングを追い求めた日々でした。今、病院薬剤師となってから30年の月日を経て、薬剤部長となった今も臨床現場の第一線で働く自分をその当時と比較すると、まさに隔世の感があります。

来年4月には初めて6年生の薬学生を社会に送り出すことになっており、そうした中で臨床現場に求められる病院薬剤師のあるべき姿とは何か。現在どこまで出来ているのか、過去はどうであったのか、そして近い未来において実現しなければならない姿とは何かをこの講演の中で示すことができればと考えています。加えて、それに到達するために必要なくつかの有効なメソッドを紹介したいと思います。「さらなる夢を実現するために！」

当日は質問時間をもうけますので活発な質問を期待します。会場が狭いので早めにお越し下さい。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰（011-706-3228）